

第7回

北海道e-水フォーラム

北海道の水環境を守る活動に取り組んでいる支援団体の活動報告を行うとともに、
森と川、生態系のつながりに関して研究や提言をされている
中村太士教授に講演いただきます。

知床世界自然遺産

2016年11月21日[月]

時間 18:00~20:30

会場 札幌国際ビル8F 国際ホール

札幌市中央区北4条西4丁目1番地
地下鉄さっぽろ駅8番出口直結

参加費 無料(定員120名)

※要事前申し込み・先着順

活動団体発表

- 網走川流域の会(網走市)
- NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト(浜中町)
- クッチャロ湖等保全対策協議会(浜頓別町)
- 後志地域生物多様性協議会(黒松内町)
- NPO法人日本野鳥の会十勝支部(帯広市)
- 北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク(釧路市)
- 丸瀬布昆虫同好会(遠軽町)
- 夕張川自然再生協議会(栗山町)※五十音順

豊平川で自然産卵行動するサケ

釧路湿原

十勝川河口

基調講演

「水をめぐる生態系のつながり ～自然を生かした地域づくりの提案」

北海道には、世界に誇る自然遺産「知床」や日本最大の「釧路湿原」、あふれ出る湧水や伏流水を湛える「十勝川」など、さまざまな自然環境が残っています。それらの地域には、豊かな生態系が存在し、水を介して相互につながっています。多くの保全施策や自然再生プロジェクトに携わり、重要な役割を果たしている研究者に自然との共生を目指した地域づくりの提案をいただきます。

講師

中村 太士氏(なかむら ふとし)

北海道大学大学院農学研究院森林生態系管理学研究室 教授

■プロフィール

中学時代から北海道に憧れ、北大に入学。1990年から92年までアメリカのオレゴン州立大学で生態系管理学を学ぶ。森林と川のつながりなど、生態系間の相互作用を土地利用も含めて流域の視点から研究している。学会及び社会的活動も幅広く、森林学、応用生態工学など応用分野のみならず、地形学、生態学といった基礎科学の分野でも活躍している。日本森林学会会長、知床世界自然遺産地域科学委員会委員、釧路湿原自然再生協議会会長などを務める。主な著書に「流域一貫」(築地書館)、「河川生態学」(講談社)などがある。

参加プレゼント

ご参加いただいた方には
「ジョージア サントスプレミアム
北海道限定デザイン」&
「いろは・す」をプレゼント!



※ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザインの売り上げの一部は「北海道e-水プロジェクト」の活動資金として活用されています。

<お申込み・お問合せ先> 公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト事務局
TEL 011-218-7811 FAX 011-218-7812 E-Mail emizu@heco-spc.or.jp

※FAX、E-Mailの方は、お名前(ふりがな)、ご所属、お電話番号をお知らせください。いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。

主催：北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団

北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。北海道e-水プロジェクト
この印刷物は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO₂削減事業ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。

